静岡県愛鷹山産キリシマミドリシジミの尾状突起の変異について

山根知之
静岡市小鹿3丁目5番1号

Variation of the length of tail of *Chrysozephyrus ataxus kirishimaensis* Okajima collected at Mt. Ashitaka, Shizuoka Prefecture, Central Honshû

TOMOYUKI YAMANE

静岡県愛鷹山産キリシマミドリシジミに尾状突起の短いものが発生することは，吉田良和氏の報文（蝶と蛾第17巻78頁，1967）に見られるとおりであるが，筆者は1967年から1969年の間数度採卵をこころみ，総計90卵を得，これより54頭の標本を得た．このうち51頭について尾状突起の長さを調べたので報告する．

この文を草するにあたり，御指導をいただいた川副昭人先生ならびに現地の状況をお教えいただきまた写真撮影の労を賜った高橋真弓先生に厚く御礼申し上げます．

調査した 24♂♂，27♀♀ はいずれも前翅長が 21.0～22.0 mm のものであり，尾状突起の長さは補正せず実測値をそのまま用いた．尾状突起の長さは，付け根外側の黒色縁毛の先端部より突起の白色末端部までを実測した (fig. 1a)．実測には，接眼マイクロメーター（最小目盛 0.05 mm）のついた計測顕微鏡を用い，0.1 mm まで計った．

調査結果はグラフ（fig. 1）のとおりであった．もっとも長いものは 4.6 mm あり，もっとも短いものは 1.0 mm
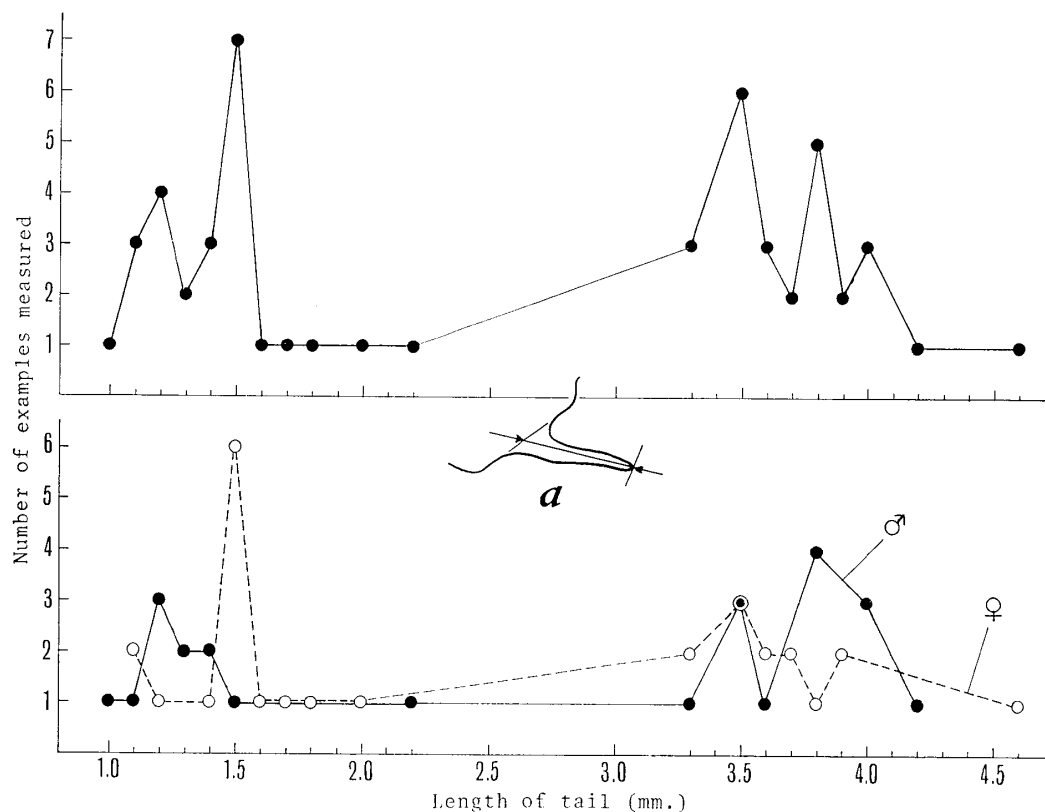
Fig. 1. Variation of tail of *Chrysozephrus ataxus kirishimaensis* Okajima taken at Mt. Ashitaka, Shizuoka Prefecture: *a*, part of tail measured; *upper*, ♂ and ♀ measured together; and *lower*, ♂ and ♀ separately.

であった．3.2～2.3 mm のものはなかった．このことより長尾型と短尾型の2つのグループに分けるのが妥当と考えられる．長尾型の平均は 3.72 mm，標準偏差は0.29であり，短尾型の平均は 1.43 mm，標準偏差は 0.28 であった．なお比較のため他産地のものを調べた結果は第1表のとおりである．これらの産地のものは，いずれも調査数が少なく，比較して十分な判断を下すことは出来ないが，静岡県愛鷹山産キリシマミドリシジミに関しては，長尾型と短尾型の2つのグループに区別出来るように考えられる．

第1表 各地産キリシマミドリシジミの尾状突起の長さ（単位 mm）

産地	調査数	尾状突起の長さ 最長	最短	平均
屋久島	2♂，2♀	1.0	0.9	0.98
対　島	1♂，1♀	3.5	3.0	3.25
宝満山	4♂，2♀	4.5	3.2	3.78
御在所山	5♂，4♀	4.6	3.0	3.97
栗野岳	8♂，14♀	4.6	3.5	4.01

Fig. 2. *Chrysozephrus ataxus kirishimaensis* Okajima, Mt. Ashitaka, Shizuoka Prefecture: (1–6) ♂; (7–12) ♀; (1–3, 7–9) long-tailed form; (4—6, 10—12) short-tailed form.